

福島県立医科大学々報

目 次

○ 学長あいさつ	2
○ 学 事	
平成17年度医学博士授与者（前期）	2
○ 人 事	
教授・助教授・講師	3
新任あいさつ	3
・医学部 解剖・組織学講座 教授 和栗 聡	
・医学部附属病院 総合診療・地域医療部 教授 葛西 龍樹	
・看護学部 基礎看護学部門 生態・機能学領域 教授 鈴木 順造	
・看護学部 基礎看護学部門 生態・機能学領域 教授 本多たかし	
○ 諸 規 程 改 正	5
平成17年7月から平成18年1月までの諸規程の制定改廃関係	
○ 評議会・医学部教授会・看護学部教授会	
評議会	5
医学部教授会	5
看護学部教授会	5
○ 雑 報	
倫理委員会	6
「地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム」の採択について	9
平成17年度科学研究費補助金採択状況	10
法人化後の組織図について	12

■ 学長あいさつ

公立大学法人職員としての意識を

学長 高地 英夫

本学は今年4月に「公立大学法人福島県立医科大学」として新たな門出を迎えます。私は、昨年末にその初代理事長予定者として、知事から内示を受けました。定款で「理事長は学長となる」と定められておりますので、学長を兼ねることにもなります。

法人化されますと、大学は役員会や経営審議会、教育研究審議会など、新たな組織を中心に運営されることとなります。定款ならびにこれまで評議会で議決された法人の組織概要、役員会規程、審議会規程などは掲示板に掲載されており、すべての大学構成員がご覧いただけますし、今後も逐次掲載されます。法人化後は大学構成員の一人一人に関わることで、ご覧になっていない方は、是非ご覧になり、新たな組織・運営様式について理解と認識を新たにしてください。

もともと法人化の趣旨は、“確実に実施されることが必要な事業などを効率的かつ効果的に行うこと”にあります。法人化の是非は別といたしまして、問題点が指摘されながら従来の組織・運営方式では容易に、あるいは速やかに解決し得なかった課題があるのも事実です。法人化後は、一定期間内に達成すべき目標（2月議会で議決の中期目標）が予め設定され、それに基づく中期計画、年度計画に則って県から運営費交付金が交付されます。そして、大学の実績は定期的に第三者（認証評価機関および県の評価委員会）によって評価されることとなります。

本学は医科大学であり附属病院を併置するため、法人化に際しては、幾多の新たな課題が出てまいります。すでに報道されたように、法人化当初は原則として全教員だけが法人職員になります。しかし、2年後にはすべてのコメディカル職員も法人職員となることを意識して病院運営に参画して下さるようお願いしています。申すまでもなく、本学が医科大学として、その機能と役割を十分に果たすことができるかどうかは、組織や運営方式にあるのではなく、偏にそれらを運用する人にあるからです。

法人化が本学の大学としての使命を損なうことなく、大学改革の延長となり、機動的かつ自律的な大学運営によって、大学を一層活性化させ発展させる良い機会になることを希望してやみません。

学 事

■ 平成17年度医学博士授与者（前期）

〔平成17年9月授与〕

氏 名	学 位 論 文 名
権田 憲士	Multiplex Ligation-dependent Probe Amplification (MLPA) 法による遺伝性非ポリポーシス大腸癌 (HNPCC) における MSH 2 および MLH 1 遺伝子のゲノム欠失及び重複の検出と切断面の解析
片倉 響子	TLR 9-induced type-1 IFN protects mice from DSS-induced colitis (Toll-like receptor 9 シグナル活性により産生された Type-1 Interferon によるマウス dextran sulfate sodium (DSS) 腸炎の抑制)
前田 享史	Relationship between physical fitness and peripheral vasoconstriction in a cold environment (身体運動能力と寒冷環境下での末梢血管収縮との間の関係)
大西 周子	Molecular Epidemiology of Norovirus Gastroenteritis in Soma area, Fukushima Prefecture, Japan from 2001 to 2003 (2001年から2003年に福島県相馬地区で流行したノロウイルスによる胃腸炎の分子疫学的検討)
古川 裕利	Enhanced thymus and activation-regulated chemokine (TARC/CCL 17) production by dust-mite allergens and its suppression of immunosuppressive drugs and an antiallergic drug in peripheral blood mononuclear cells from patients with atopic dermatitis
渡邊亜貴子	Monitoring of motor performance with Lifecorder in Parkinson's disease-A correlative study of unified Parkinson's disease rating scale and evaluation of motor fluctuation (Lifecorder によるパーキンソン病患者の運動評価法の有用性)
高橋 亜依	Detection of Enterovirus in Renal Biopsies from Patients with Immunoglobulin A Nephropathy (IgA 腎症患児の腎生検組織からのエンテロウイルスの検出)
武藤 学	Risk of multiple squamous cell carcinomas both in the esophagus and the head and neck region

(頭頸部および食道における Field cancerization 現象のメカニズム解明)
 森田 浩之 Laboratory characteristics of acute encephalopathy with multiple organ dysfunctions
 (多臓器障害を伴う急性脳症における臨床検査学的特性に関する検討)

人 事

◎新任教授

- 採用 17.10.1 医学部解剖・組織学講座 教授 和栗 聡
- 昇任 17.10.1 看護学部基礎看護学部門 生態・機能学領域 教授 鈴木 順造
- 昇任 17.10.1 看護学部基礎看護学部門 生態・機能学領域 教授 本多たかし
- 採用 18.3.1 医学部附属病院 総合診療・地域医療部 教授 葛西 龍樹

◎新任助教授

- 昇任 17.12.1 医学部内科学第二講座 助教授 大平 弘正
- 昇任 18.2.1 医学部法医学講座 助教授 阿部すみ子

◎新任講師

- 昇任 17.8.1 医学部外科学第一講座 講師 斎藤 拓朗
- 採用 17.10.1 医学部附属生体情報伝達研究所 生体物質研究部門 講師 蕪山由己人
- 昇任 17.10.1 医学部附属生体情報伝達研究所 生体物質研究部門 講師 本間美和子
- 昇任 17.11.1 医学部小児科学講座 講師 川崎 幸彦
- 昇任 17.11.1 医学部耳鼻咽喉科学講座 講師 松塚 崇
- 昇任 18.1.1 医学部生理学第二講座 講師 二宮治重子
- 昇任 18.3.1 医学部内科学第二講座 講師 渡辺 浩志

■ 新任あいさつ



教授就任ごあいさつ

医学部 解剖・組織学講座
 教授 和栗 聡

平成17年10月1日をもちまして、解剖・組織学講座（旧解剖学第2講座）の教授に就任いたしました。

高校まで新潟（上越市）で育ち、大学は筑波大学医学専門学群。その後、同大学大学院、岩手医科大学、大阪大学

を経て本学に参りました。約10年ぶりに雪を踏みしめながらの通勤生活を楽しんでいます。研究テーマは、「リソソーム分解システム」です。リソソームは細胞内分解に関わる細胞内小器官ですが、ヒトの社会ではゴミ処理場に相当します。ゴミ収集車、焼却場、焼却のための燃料などが現代の生活に欠かせないように、細胞にとってもこの焼却システムは不可欠です。私が特に力を注いでいるのは、このような細胞の代謝システムを「目に見える形」にすることです。留学先のフランスで始めた研究では、作られて間もないリソソーム酵素が小胞や小管を使って運ばれてゆく様子を、ビデオ顕微鏡を使って、初めて生きたまま観察することができました。また、最近ではオートファジー機構の研究も行っております。例えば飢餓状態が続くと、細胞は自身を削り分解することでアミノ酸を供給し始めます。この「自身の分解=オートファジー」を電顕観察すると、削り取った領域を区画する「袋」が細胞内に多数検出されます。このような細胞内社会のリサイクル機構の研究を通して、細胞が健康的であるためのシステムを1つ1つ解き明かそうと考えています。

教育は現在、主に組織学を担当していますが、知識より観察力や動機付け、口頭による説明を重視した教育を進めてゆく所存です。講座運営の方針の1つとして「開かれた教室」を掲げます。古典的組織学から電子顕微鏡レベルでの局在解析まで、当講座の施設や長年培われた技術を多くの方に有効に利用していただけるよう努力して参りたいと思います。微力ではありますが皆様そして独法化後の本学のために尽力させていただきたいと考えますので、どうかよろしくお願いいたします。



着任のご挨拶

医学部附属病院
 総合診療・地域医療部
 教授 葛西 龍樹

はじめまして、葛西龍樹（かっさいりゅうき）と申します。このたび本学医学部に新設された家庭医療・地域医療の部門を担当させていただくことになりました。

世界に通じる「家庭医療」の定義は、「どのような問題にもすぐに対応し、家族と地域の広がりの中で、疾患の背景にある問題を重視しながら、病気を持つひとを人間として理解し、からだところをバランスよくケアし、利用者との継続したパートナーシップを築き、そのケアに関わる多くの人と協力して、地域の健康ネットワークを創り、十分な説明と情報の提供を行うことに責任を持つ、家庭医によって提供される、医療サービス」というものです。このような多くの機能をバランスよく実践するためには、すべての医師が備える能力（診療に関する一般的な能力と利用

者とのコミュニケーション、プロフェッショナルリズム、組織・制度・運営に関する能力)と家庭医療に必要な臨床各科にわたる医学的知識と技術を学んだ上で、「家庭医」を特徴づける能力(患者中心の医療を提供する能力、家族志向型ケアを提供する能力、包括的・継続的かつ効率的な医療を提供する能力、そして地域・コミュニティーをケアする能力)を知識・技術だけでなく態度・価値観を含めて身に付ける必要があります。

「家庭医療後進国」と言われる日本では、家庭医療を実践・教育できる人材の養成が急務です。前任地の北海道家庭医療学センターでは、幸い多くの人々のおかげで優れた人材が集まり、10年間である程度のシステムを構築できました。室蘭・札幌・登別という市街地、そして更別村、寿都町、礼文島という過疎地・離島にも家庭医療の診療・教育の拠点を創り、それが全国のモデルになっています。

福島に新しい家庭医療のモデルを創ることが私に与えられたミッションです。本学のみなさまに支えられてこのミッションを進めたいと思います。ご指導ご鞭撻、そしてご理解とご協力をどうぞよろしくお願い致します。



教授就任ごあいさつ

看護学部 基礎看護学部門
生態・機能学領域
教授 鈴木 順 造

私は昭和52年3月に本学を卒業後、小児科学教室に入局いたしました。小児科全般の研修を行い、その後小児の腎、アレルギー、そして代謝内分泌疾患を中心に診療および研究を行ってまいりました。私は、臨床の医学研究の基本は日常の臨床の現場で得られた疑問点を最新の手法を用いて解明し、普遍的な事実に戻元することであると考えております。さらに、“Evidence-based Medicine”のみでは解決されない臨床の問題もあり、このような疑問を解決するには、“Narrative-based Medicine”や“Insight-based Medicine”ともいべき研究も避けては通れなくなってきています。従って、日常診療を大切に、患者一人一人をきちんと診察し、的確な疑問点を見いだすことが大切であると考えております。

また、医学教育は学生自身に医学それ自体を学ばせることばかりではなく、どうやって医学を学ぶのかを教えることも大切であると考えております。そうすることにより、学生自身に自己主導型学習能力が育成され、統合化された知識の推論技術や問題解決能力を高め、さらには学習に対する動機づけがより明確になり、自分が将来医療関係に携わっていくことを志した新鮮な気持ちを維持する事ができるのではないのでしょうか。

一方、今日のが国の医療を取り巻く環境は決して明る

くはありません。高齢化、少産少子化の時代になった上に、24時間救急医療の確立や過疎地域医療対策など新たに課せられた責務の増加や、採算性優位の医療政策により厳しい環境が到来しております。加えて、独立法人化を迎え、これまで大学人が最優先してきた研究活動にも、社会に対する説明義務を負うという意識の変化も芽生えています。私は、この機会に医療における医学・看護学研究的意義を考え、その原点に戻ることが必要と考えています。そして、古今変わらぬ「医療人としての職業的良心」を次世代に伝える義務があるものと思っております。



生態・機能学領域に 着任して思うこと

看護学部 基礎看護学部門
生態・機能学領域
教授 本 多 たかし

平成17年10月1日付で本領域に教授として着任して以来、看護学部における基礎医学系講義内容の充実と、ここに本格的な形態学実験室を開設するべく奮闘してきました。その過程で捉え得た私なりの課題を列挙し、就任の挨拶に代えたいと思います。

1. **看護学部の存在理由**：着任前に私が看護学部を抱いたイメージは、「看護師を養成する学部」という単純なものでした。しかし、医学部が唯一無二の医師養成機関であるのに対して、看護師養成には多様な教育機関が存在します。専門職(看護師)養成だけでは看護学部は医学部ほど明瞭な存在理由を提示し得ないのです。看護教育における「大学とは何か」という学部の本質の問題に直面し、準備を疎かにして難解な試験問題に挑む学生のように困惑する毎日です。
2. **自主的実習システムの構築**：専門学校教育に比べて学部が明確に差異を誇れるものとして、教育内容の深さがあります。私の担当はほぼ全ての基礎医学を網羅しますが、講義中心教育から実習に力点を置く教育に移行することで学部としての特色を出せると考えています。この為に、学部内のコンピューターネットワークを活用した自主的実習システムを開発中です。これは、学部が保有する標本を説明付きの画像情報にしてWeb上で公開し、ファイルの指示に従って利用者が顕微鏡観察を行うシステムで、空き時間を利用した学生・職員の自由な実習が可能となります。現在、その教材を作成中ですが、病理標本の種類が絶対的に不足しています。臨床に従事しておられる諸先生で、適当な標本がありましたら、固定液に浸漬して領域宛にお送り下さい。100枚単位の亜連続切片にして学生に供覧すると共に、ご要望があればご自身も利用可能です。
3. **看護解剖学研究者の育成**：自主的実習システムの構築

は、必然的に形態学研究設備の充実を目指すこととなります。現在、本領域には自動包埋装置、包埋センター、マイクローム、凍結マイクローム、ウルトラマイクローム、等が配備され、ほぼ全ての形態研究が可能です。今後は、看護学を学び、その視点からヒトの形態学的理解を目指す看護学の解剖学研究者をこの設備を使って養成したいと考えています。

諸規程改正

■ 平成17年7月～平成18年1月までの諸規程の制定改廃関係

- 1 「福島県立医科大学医学部附属放射性同位元素施設放射線障害予防規程」の一部改正について（平成17年7月21日施行）
放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律が改正され、平成17年6月1日から施行されたことに伴い、所要の改正を行った。
- 2 「福島県立医科大学医学部附属病院自治医科大学出身者臨床研修医の派遣に関する要綱」の制定（平成17年7月21日制定・施行）
自治医科大学からの臨床研修医の受け入れについて、協力病院での研修を実施するに当たり、派遣時の取扱いを定めた。
- 3 「福島県立医科大学医学部臨床教授等に関する申合せ」の一部改正（平成18年1月12日制定・施行）
臨床教授等選考委員会の「医科部教務委員会及び卒業臨床研修委員会から選任された委員」の任期を2年と定めることとした。（現委員の任期は、平成18年3月31日まで）
- 4 「福島県立医科大学看護学部長選考規程」の一部改正について（平成18年1月17日制定・施行）
看護学部長選考手続きの迅速化を図り、選挙の公平性を確保するため、所要の改正を行った。

評議会・医学部教授会・看護学部教授会

■ 評議会

【平成17年10月26日定例評議会】

- ・倫理委員会委員の一部改選
次のおり選任された。

丸山教授（医：内科学第一講座）
任期は、平成17年11月1日から平成18年7月31日まで。

- ・個人情報管理者の改選
次のおり選任された。

岡田教授（医：数学講座）
任期は、平成17年11月1日から2年間。

- ・附属図書館委員会委員の一部改選
次のおり選任された。

本多教授（看：生態・機能学領域）
任期は、平成19年3月31日まで。

【平成17年11月22日定例評議会】

- ・職務発明審査会委員の一部改選
次のおり選任された。

鈴木教授（看：生態・機能学領域）
任期は、平成19年2月15日まで。

【平成18年1月25日定例評議会】

- ・組換えDNA実験安全委員会委員の一部改選
次のおり選任された。

本多教授（看：生態・機能学領域）
任期は、平成19年3月31日まで。

■ 医学部教授会

【平成17年7月20日定例教授会】

- ・医学部定数委員会委員の一部改選
次のおり選任された。

狭間教授（生理学第一講座）

和田教授（細胞科学研究部門）

佐藤(由)教授（内科学第二講座）

横山教授（心臓血管外科学講座）

岡田教授（数学講座）

任期は、平成17年8月1日から2年間

【平成18年1月18日定例教授会】

- ・医学部海外出張審議委員会委員の一部改選
次のおり選任された。

生命科学・社会医学系から

和田教授（細胞科学研究部門）

臨床医学系から

棟方教授（呼吸器科学講座）

任期は、平成17年1月20日からとなる。

■ 看護学部教授会

【平成17年10月18日定例教授会】

- ・看護学部教務委員会委員の補充
次のおり選任された。

真壁教授（応用看護学部門）

任期は、平成19年3月31日まで

- ・看護学部学生委員会委員の補充

次のとおり選任された。

鈴木教授（基礎看護学部 生態・機能学領域）
任期は、平成18年3月31日まで

- 看護学部図書・情報委員会委員の補充
- 次のとおり選任された。

鈴木教授（基礎看護学部 生態・機能学領域）
任期は、平成18年3月31日まで

- 看護学部自己点検・自己評価委員会（専門委員会）委員の補充
- 次のとおり選任された。

加藤教授（ケアシステム開発部門 環境・保健学/看護管理学領域）
任期は、平成18年3月31日まで

雑 報

■ 倫理委員会

【平成17年4月1日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの（新規申請のみ）】

- No.357 死後脳を用いたモノアミン神経系の形態解析と神経活性物質の局在解析などによる精神神経疾患の病因解明と治療法開発のための多施設間共同研究
(申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)
- No.368 進行非小細胞肺癌に対する TS-1+ CPT-11併用化学療法第 I 相試験
(申請者：呼吸器科学講座 教授 棟方 充)
- No.369 ゲフィチニブ既治療進行非小細胞肺癌に対するゲフィチニブ再治療の第 II 相試験
(申請者：呼吸器科学講座 教授 棟方 充)
- No.370 進行非小細胞肺癌に対する化学療法の効果とバイオマーカー発現の検討
(申請者：呼吸器科学講座 教授 棟方 充)
- No.371 高齢者非小細胞肺癌に対する Carboplatin と少量分割または一括投与 Paclitaxel 併用化学療法の無作為化比較臨床第 II 相試験
(申請者：呼吸器科学講座 教授 棟方 充)
- No.372 PS 2 非小細胞肺癌に対する少量分割 Paclitaxel 単独療法または Carboplatin との併用化学療法の無作為化比較臨床第 II 相試験
(申請者：呼吸器科学講座 教授 棟方 充)
- No.373 アンドロネード（アレンドロン酸ナトリウム水和物）の腎炎・ネフローゼ症候群患者におけるステロイド骨粗鬆症予防的治療に対する有効性に関する多施設共同臨床試験
(申請者：内科学第三講座 教授 渡辺 毅)
- No.374 膝部 Cardio Ankle Vascular Index (kCAVI) の有効性の検討

- (申請者：臨床検査医学講座 教授 吉田 浩)
- No.375 進行・再発大腸癌に対する TS-1/CPT-11併用療法の第二相臨床試験

- (申請者：外科学第二講座 教授 竹之下誠一)
- No.376 家庭用簡易乳癌自己検査装置（乳癌チェッカー）の臨床検討

- (申請者：外科学第二講座 教授 竹之下誠一)
- No.377 高レムナントリボ蛋白白血症を伴う虚血性心疾患に対する脂質低下薬の前向き追跡ランダム化比較試験

(申請者：内科学第一講座 教授 丸山幸夫)
【平成17年5月6日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの（新規申請のみ）】

- No.378 前立腺肥大症の過活動膀胱症状に対する $\alpha 1$ 受容体遮断薬・抗コリン薬併用療法に関する臨床試験
(申請者：泌尿器科学講座 教授 山口 脩)

- No.379 慢性維持透析患者の心血管系合併症抑制を目指した代替療法の確立—植物性 w 3 系多価不飽和脂肪酸摂取の心血管系疾患予防効果の検証—
(申請者：内科学第三講座 教授 渡辺 毅)

- No.380 難治性ネフローゼ症候群におけるプレドニゾロンとシクロスポリンの併用療法に関する多施設共同研究
(申請者：内科学第三講座 教授 渡辺 毅)

- No.383 ケアプラン作成における介護支援専門員の現状と課題
(申請者：地域看護学領域 講師 武田春美)

- No.381 大腸癌肝転移に対する肝切除後の動注化学療法と全身化学療法併用（WHF + UFT/oral LV 療法）の有効性に関する研究（第 III 相試験）
(申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)

- (申請者：外科学第二講座 教授 竹之下誠一)

- No.382 肝細胞癌に対する肝移植の周術期における末梢血ならびに骨髄中 AFPmRNA 測定とその臨床的意義
(申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)

- No.384 腹膜種または腹腔内遊離癌細胞を有する胃癌症例に対するドセタキセル腹腔内投与の忍容性および体内動態の検討
(申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)

- No.385 Real-time PCR による真菌・細菌血症の迅速診断法の確立
(申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)

【平成17年6月3日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの（新規申請のみ）】

- No.386 福島県内の病院における身体拘束の現状とその背景
(申請者：家族看護学領域 助教授 粟生田友子)

- No.387 Cypher®シロリムス溶出ステント植え込みに係る個人情報提供に関する倫理審査

<p>(申請者：第一内科学講座 講師 三次 実)</p> <p>No.388 中高年齢者のための職業適性検査の開発に関する研究</p> <p>(申請者：総合科学部門(心理学) 教授 志賀令明)</p> <p>No.389 小児がんを克服し青年後期を迎えた小児がん経験者の社会生活に対する母親の関わりとその意味</p> <p>(申請者：小児科学講座 講師 菊田 敦)</p> <p>No.390 小児がんの染色体分析と遺伝子分析</p> <p>(申請者：小児科学講座 教授 鈴木 仁)</p> <p>No.391 糖尿病における冠動脈硬化の病態解明に関する研究—剖検標本を用いた検討—</p> <p>(申請者：第一内科学講座 教授 丸山幸夫)</p> <p>No.392 肥満細胞症における遺伝子変異検索</p> <p>(申請者：皮膚科学講座 教授 金子史男)</p> <p>No.393 性同一性障害のホルモン療法</p> <p>(申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)</p> <p>No.394 高齢者高血圧コホート研究</p> <p>(申請者：内科学第三講座 教授 渡辺 毅)</p> <p>No.396 地域住民における運動器疾患に関する疫学的検討</p> <p>(申請者：整形外科科学講座 教授 菊地臣一)</p> <p>【平成17年 7月 1日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの(新規申請のみ)】</p> <p>No.397 特発性肺線維症におけるシクロスポリン併用ステロイド療法に関する前向き多施設共同治療研究</p> <p>(申請者：呼吸器科学講座 教授 棟方 充)</p> <p>No.398 早期特発性肺線維症に対するN-アセチルシステイン吸入療法に関する前向き多施設共同治療研究</p> <p>(申請者：呼吸器科学講座 教授 棟方 充)</p> <p>No.401 卵巣癌患者に対する感受性試験(CD-DST法)に関する研究</p> <p>(申請者：産科婦人科学講座 教授 佐藤 章)</p> <p>No.402 腹式広汎性子宮頸部摘出術の効果、安全性ならびに妊娠・出産に与える影響に関する検討</p> <p>(申請者：産科婦人科学講座 教授 佐藤 章)</p> <p>No.403 SLE(ループス腎炎)に対するミゾリピンの投与方法の違いによる有用性の検討—1日1回投与と1日3回分割投与の比較検討(ステロイド減量効果と血中濃度との関連を含めて)—</p> <p>(申請者：内科学第二講座 教授 佐藤由紀夫)</p> <p>No.404 精神障害者の治療場面における自己決定とそれを支える看護</p> <p>(申請者：精神看護学領域 教授 中山洋子)</p> <p>No.405 PET陽性多発縦隔リンパ節転移腸性進行非小細胞肺癌に対する術前術後補助免疫療法の臨床第I/II相試験</p> <p>(申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)</p> <p>No.406 PET陽性縦隔リンパ節転移を有する臨床病期ⅢA期非小細胞肺癌に対するTS-1+CDDPによる術前導入化学療法が多施設臨床第Ⅱ相試験</p>	<p>(申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)</p> <p>No.408 進行・再発子宮頸癌に対するDocetaxel+Carboplatin併用療法の第Ⅱ相試験</p> <p>(申請者：産科婦人科学講座 教授 佐藤 章)</p> <p>No.409 再発卵巣癌に対する2nd-line chemotherapyとしてのIrinotecan/oral Etoposide併用療法の検討—phaseⅡ Study</p> <p>(申請者：産科婦人科学講座 教授 佐藤 章)</p> <p>【平成17年 8月 5日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの(新規申請のみ)】</p> <p>No.399 超速効型インスリン製剤による頻回注射療法の研究—食後高血糖の改善効果が動脈硬化の発症・進展に及ぼす影響についての検討—</p> <p>(申請者：内科学第三講座 教授 渡辺 毅)</p> <p>No.400 グリミクロン特定使用成績調査</p> <p>(申請者：内科学第三講座 教授 渡辺 毅)</p> <p>No.410 骨髄異形成症候群における血球分化に伴うGM-CSF受容体の発現抑制とその機序の解析</p> <p>(申請者：薬理学講座 教授 木村純子)</p> <p>(申請者：内科学第一講座 教授 丸山幸夫)</p> <p>No.412 女性専門外来に何が求められているか—福島県立医科大学女性専門外来受診者の現状と女性医師の意識調査から—</p> <p>(申請者：産科婦人科学講座 教授 佐藤 章)</p> <p>No.413 精神神経疾患の死後脳研究</p> <p>(申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)</p> <p>【平成17年 9月 2日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの(新規申請のみ)】</p> <p>No.411 慢性的に健康問題をもつ子どもへの外来看護に対する家族ニーズと看護師の認識に関する調査</p> <p>(申請者：小児看護学領域 助教授 鈴木千衣)</p> <p>No.414 福島県二本松市における在日外国人の保護医療行動の現状と改善へ向けての提言</p> <p>(申請者：地域看護学領域 助手 藤井まい)</p> <p>No.415 非小細胞肺癌および転移性肺癌ハイリスク症例に対するラジオ波焼灼療法の臨床第Ⅰ/Ⅱ相試験</p> <p>(申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)</p> <p>No.416 ハイリスク児をもつ親の育児ストレスと育児支援の検討</p> <p>(申請者：小児看護学領域 助教授 鈴木千衣)</p> <p>No.417 閉経前進行・再発乳癌に対する第一次ホルモン療法における酢酸ゴセレリン+アナストロゾールの有効性に関する研究</p> <p>(申請者：外科学第二講座 教授 竹之下誠一)</p> <p>No.418 精神神経疾患死後脳研究における健常対照群としての剖検脳組織標本の検討</p> <p>(申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)</p> <p>No.419 精神神経疾患死後脳研究における健常対照群としての剖検脳組織標本の検討</p>
---	---

<p>(申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)</p> <p>No.420 限局性ユーイング肉腫ファミリー腫瘍に対する集学的治療法の第Ⅱ相臨床試験</p> <p>(申請者：小児科学講座 教授 鈴木 仁)</p> <p>No.421 小児造血器腫瘍の免疫学的診断の標準化のための精度管理研究</p> <p>(申請者：小児科学講座 教授 鈴木 仁)</p> <p>No.423 胃癌術後補助化学療法 (S-1) における抗癌剤感受性試験の検証</p> <p>(申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)</p> <p>No.424 胃癌術後補助化学療法 (S-1) における抗癌剤感受性試験の検証試験における遺伝子研究</p> <p>(申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)</p> <p>No.427 多発性骨髄腫に対するサリドマイドによる治療の検討</p> <p>(申請者：内科学第一講座 教授 丸山幸夫)</p> <p>【平成17年10月7日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの (新規申請のみ)】</p> <p>No.422 福島県内保育所で働く看護職の現状に関する調査</p> <p>(申請者：環境・保健学/看護管理学領域 講師 稲毛映子)</p> <p>No.425 オイパロミン370シリンジ安全性調査</p> <p>(申請者：放射線医学講座 教授 宍戸文男)</p> <p>No.426 イオパーク350シリンジ安全性調査</p> <p>(申請者：放射線医学講座 教授 宍戸文男)</p> <p>No.427 酸素高透過性バッグを用いて保存した血小坂の機能と生体内効果の評価</p> <p>(申請者：輸血・移植免疫部 教授 大戸 斉)</p> <p>No.428 難聴の遺伝子診断</p> <p>(申請者：耳鼻咽喉科学講座 教授 大森孝一)</p> <p>No.429 重炭酸リンゲル液の臨床的検討</p> <p>(申請者：麻酔科学講座 教授 村川雅洋)</p> <p>No.430 脳神経外科手術におけるヒヤリ・ハット事例、事故事例、訴訟事例の分析による手術治療安全対策ガイドライン作成に関する研究</p> <p>(申請者：脳神経外科学講座 教授 児玉南海雄)</p> <p>No.431 糖尿病黄斑症における脂質代謝障害の検討</p> <p>(申請者：眼科学講座 教授 飯田知弘)</p> <p>【平成17年11月4日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの (新規申請のみ)】</p> <p>No.432 新しい尿失禁防止術 TOT (Trans Obturator Tape) の臨床的検討</p> <p>(申請者：泌尿器科学講座 教授 山口 脩)</p> <p>No.433 ヒト非上皮性悪性腫瘍細胞株に対する新規治療薬剤の効果の検討</p> <p>(申請者：病理学第一講座 教授 阿部正文)</p> <p>No.434 進行・再発胃癌患者を対象としたタキソテール_R注/ティーエスワンカプセル_R併用療法とティーエスワンカプセル_R単独療法の第Ⅲ相試験</p>	<p>(申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)</p> <p>No.435 救急救命士の薬剤 (エピネフリン) 投与実習</p> <p>(申請者：救急科 助教授 田勢長一郎)</p> <p>【平成17年12月2日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの (新規申請のみ)】</p> <p>No.436 子宮内膜症組織における Steroid Receptor Coactivator (SRCs) 発現様式の検討</p> <p>(申請者：産科婦人科学講座 教授 佐藤 章)</p> <p>No.437 原発性胆汁性肝硬変症例における Toll-like receptor 9 遺伝子変異の検索</p> <p>(申請者：内科学第二講座 教授 佐藤由紀夫)</p> <p>No.440 炎症性腸疾患における Toll-like receptor を介した自然免疫の関与について</p> <p>(申請者：内科学第二講座 教授 佐藤由紀夫)</p> <p>No.442 進行肝癌治療における低侵襲性経皮的肝灌流化学療法</p> <p>(申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)</p> <p>No.443 冬期間の訪問看護に関する調査</p> <p>(申請者：地域看護学領域 講師 安齋ひとみ)</p> <p>No.444 腰帯血中ヒトグルコルチコイドレセプターの発現とステロイド抵抗性に関する検討</p> <p>(申請者：総合周産期母子医療センター 教授 鈴木 仁)</p> <p>No.445 HB ワクチン早期接種による B 型肝炎母子感染防止効果の研究</p> <p>(申請者：輸血・移植免疫部 教授 大戸 斉)</p> <p>No.446 安息香酸ナトリウム注射液</p> <p>(申請者：総合周産期母子医療センター 教授 鈴木 仁)</p>
--	--

■ 文部科学省「地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム」の採択について

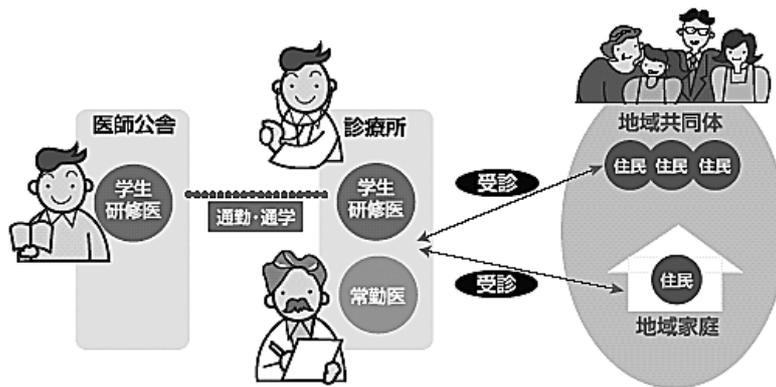
本学では、平成17年度文部科学省「地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム」に採択され（平成19年度まで）、全国に先駆けて、地域に生き、地域の人々と暮らす「新地域医療人」の育成を目的とした「ホームステイ型医学教育研修プログラム事業」をスタートさせました。

このホームステイ型医学教育研修プログラムは、医学部6年生、卒後臨床研修医、後期（専門）研修医が地域住民家庭でのホームステイを経験しながら医療研修を実施することによって、医学生と研修医の地域医療と地域社会に関する深い理解を促進し、さらに地域への医師定着に結びつ

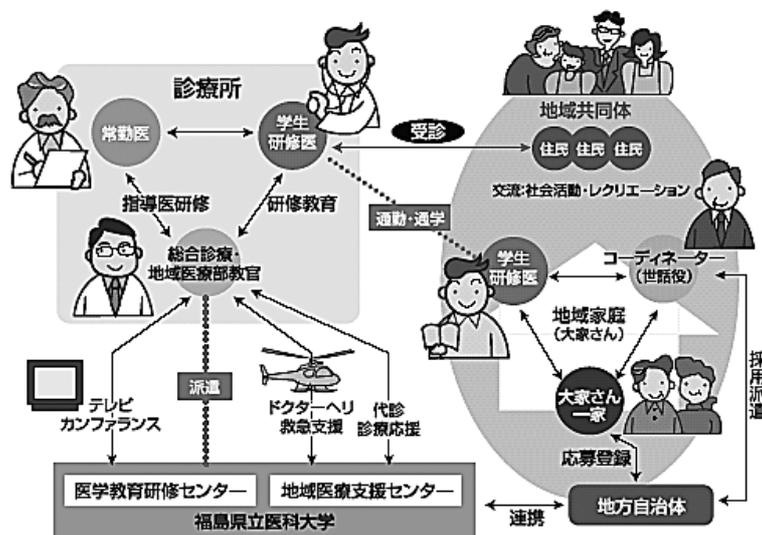
けることが目的です。

平成17年度は、地域家庭でのホームステイとして地方自治体の協力のもと、「大家さん一家と地域住民との白衣を脱いだ密接な交流」及び「地域共同体での居住体験と、地域の魅力発見の機会」を提供します。また、地域に生きる医師の定着について地域住民とともに行政、医療機関及び本学等が一体となって福島県の地域医療について考えるため、「県民地域医療フォーラム」を開催しました。さらに、本学と県立会津総合病院及び朝日診療所との間にテレビ会議システムを整備します。

従来型研修の概念図



ホームステイ型医学教育研修プログラム



平成17年度 科学研究費補助金採択状況

(平成18年2月24日現在)

所 属	職 名	研究種目	課題番号	研 究 課 題 名	金 額 (千円)		
					17年度	18年度	19年度
医 学 部	教授	基礎研究(C)一般	16500223	発生早期に起こる運動神経細胞死における転写因子の関与の解明	1,000	0	0
	講師	基礎研究(C)一般	17590167	選択的細胞除去による脊髄運動ニューロン数の制御メカニズムの解析	2,000	1,500	0
	助手	基礎研究(C)一般	17590166	脊髄神経軸索の投射パターンを規定する軸索誘引メカニズムとその分子基盤の解明	1,900	1,300	0
	教授	基礎研究(C)一般	17590163	生細胞におけるマンノース6リン酸受容体のポストゴリジ輸送動態	1,800	1,700	0
	講師	基礎研究(C)一般	17500234	LRRとIgDメインを持つ分子の神経発生過程における機能解析	2,300	1,300	0
	助手	若手研究(B)	17790164	宇宙飛行によって幼児ラットに引き起こされた水腎症の解析	1,800	1,700	0
	教授	基礎研究(C)一般	16614009	オレキシン系による覚醒およびナルコレプシー調節機構の神経生理学的解析	1,200	0	0
	教授	特定領域研究	13143204	自然免疫における生体防御レクチンの役割	19,800	0	0
	助手	若手研究(B)	17790327	MASP欠損マウスを用いた病原微生物に対する感受性の検討	1,400	1,800	0
	助手	若手研究(B)	16790291	Toll様受容体病原体認識機構におけるコレクチンの役割	1,200	1,200	0
	教授	基礎研究(C)一般	17590223	Na ⁺ /Ca ²⁺ 交換機構の遺伝子発現と機能調節に関する研究	1,800	1,700	0
	助教授	基礎研究(C)一般	16590201	炎症反応におけるプリン受容体シグナリングによる制御機構の解明	1,200	0	0
	教授	基礎研究(C)一般	16590990	非結核性抗酸菌に対する新たな検査法の開発と感染症例の検討	1,700	0	0
	助手	若手研究(B)	15790334	プロスタグランジンI ₂ 産生能とRSウイルス感染症の重症度との関連	600	0	0
	助手	若手研究(B)	17791246	siRNAを用いたウイルス性結膜炎の病態解明と治療法の開発	2,500	1,000	0
	助手	若手研究(B)	16591609	サイトメガロウイルス感染症の腎移植後拒絶反応への免疫病理学的解析	1,100	0	0
	教授	基礎研究(C)一般	17590310	B細胞におけるCD101/NEP24.11の生物学的役割の解明	1,100	1,400	1,000
	講師	若手研究(A)	16687010	ヒトの体温調節機能における生理的多型性と機能的潜在性に関する研究	8,200	3,600	0
	講師	若手研究(B)	16790338	妊娠の計画性が母子の健康と育児に及ぼす影響についてのアジア2国間比較	500	0	0
	助手	若手研究(C)一般	16590506	療養型病棟群・精神病院における疥癬の予防対策の確立に関する研究	900	900	0
講師	基礎研究(C)一般	16590703	へムオキシゲナーゼによる心血管系防御機構の解明と臨床診断への応用	1,300	0	0	
助手	若手研究(B)	16790338	発作性夜間血色素尿症のCD34 ⁺ 細胞へのPIG-A遺伝子導入による遺伝子治療	1,700	0	0	
助手	若手研究(B)	16790424	虚血再灌流心筋傷害に対し保護的に働く心臓線維芽細胞由来物質の治療的役割と同定	1,600	0	0	
助手	基礎研究(C)一般	17591052	CNSループスにおける抗トリオースリン酸イソメラゼ(TPI)抗体の病原性の検討	600	500	0	
助手	若手研究(B)	15790513	微生物由来DNAがマウス関節炎モデルにおける関節炎の発症および抑制に与える影響	1,000	0	0	
助手	若手研究(B)	16790467	腎不全血管合併症進展抑制における酸化ストレス抑制の意義に関する研究	1,300	0	0	
教授	基礎研究(B)一般	16390366	脾臓再構築による脾幹細胞の同定と展開	6,300	0	0	
助教授	基礎研究(C)一般	17591423	メチル化の制御によるフ化ピロリジン系抗癌剤代謝阻害素遺伝子の発現調節	2,200	1,300	0	
講師	基礎研究(C)一般	17591424	食道における組織修復機構を利用した異型細胞の制御と制癌効果への応用	1,700	1,500	0	
助手	萌芽研究	17659416	エネルギーチャージによる新たな組織機能評価法の確立と保存障からの脾臓分離法の開発	1,700	1,600	0	
教授	基礎研究(B)一般	17390354	TGF-βシグナルを制御するユビキチンリガーゼの異常と癌のメカニズムに関する研究	12,500	2,000	1,400	
講師	基礎研究(C)一般	17591425	チミジンホスホリラーゼを標的としたクロニン病治療系の確立	1,900	800	800	
助手	基礎研究(C)一般	16591265	乳癌多発性の病理学および分子生物学的解析による乳房温存手術適応拡大への応用	1,200	0	0	
助教授	萌芽研究	17659154	画像解析ネットワークを利用した地域全体の乳癌治療方針の画一化に関する研究	2,000	1,200	0	
教授	基礎研究(C)一般	17591523	下小脳脚障害の探知に関する実験的検討	1,800	500	0	
助手	若手研究(B)	17790977	脳表組織への高頻度単極電気刺激の安全性の検討	1,100	500	0	
講師	基礎研究(C)一般	16591502	腰椎間板ヘルニアによる坐骨神経痛発現メカニズムの解明と新たな治療法の開発	700	0	0	
教授	基礎研究(C)一般	17591480	心臓3次元運動解析による心拍動下手野制御法の開発	2,600	700	0	

所 属	職	氏 名	研 究 種 目	課 題 番 号	研 究 課 題 名	金 額 (千円)	
						17年度	18年度 19年度
医 学 部	助手	鈴木 康俊	基礎研究(C)一般	17591876	皮膚三次元培養創傷治癒モデルによるケロイドの解析	2,300	1,100 0
	助手	三瓶 稔	若手研究(B)	16790611	羊胎子の慢性低酸素環境下におけるANP及びET-1レセプターにおける精子形成能に関する検討	800	0 0
	助手	林 章太郎	若手研究(B)	17791130	変遷精子核蛋白TP1, 2, タブリンノックアウトマウスにおける精子形成能に関する検討	2,100	500 500
	教授	鈴木 仁	基礎研究(C)一般	16591045	IgA 腎症の進展に関与するウイルスの役割についての病態病理学的研究	1,200	0 0
	助手	川崎 幸彦	基礎研究(C)一般	17591103	腎糸球体の再生過程における糸球体内皮細胞の役割に関する検討	1,300	1,200 900
	教授	飯田 知弘	基礎研究(C)一般	17591847	脈絡膜新生血管におけるチロシンホスホリラーゼの発現とその阻害剤による治療	2,200	1,300 0
	助教授	中村晃一郎	基礎研究(C)一般	16591107	プリオン蛋白による皮膚特異的樹状細胞の転写調節因子の制御に関する研究	700	0 0
	講師	尾山 徳孝	若手研究(B)	16790651	乾癬において発現異常を示す遺伝子群の病態形成に及ぼす重要性と質的な評価の研究	1,200	900 0
	講師	嘉村 康邦	基礎研究(C)一般	17591688	女性骨盤底機能障害の解剖学的および機能的な研究	2,300	500 500
	助手	相川 健	基礎研究(C)一般	16591608	膀胱上皮細胞に発現するアセチルコリンとムスカリニンレセプターの蓋尿管期での役割	1,700	0 0
	教授	大森 孝一	基礎研究(B)一般	17390464	頭頸部管腔臓器再生における血管新生と組織修復機構の解明	9,300	5,800 0
	教授	大森 孝一	萌芽研究	17659537	内耳性難聴に対する細胞移植と人工内耳の併用治療に関する基礎的研究	2,000	1,300 0
	教授	丹羽 真一	基礎研究(C)企画	17639013	意図の伝達スキルに関する学際的国際共同研究の企画	3,300	0 0
	教授	丹羽 真一	基礎研究(C)一般	16591149	統合失調症モデル動物に対するD-serine と新規抗精神病薬の治療効果比較	600	0 0
	助教授	田子 久夫	基礎研究(C)一般	16591150	アセチルコリンエステラーゼ注入による脳内変化の研究	400	0 0
	講師	池本 桂子	基礎研究(C)一般	17591225	統合失調症死後脳におけるモノアミン関連遺伝子のDNAメチル化状態	1,700	1,000 0
	助教授	今福 裕司	若手研究(B)	17790358	プロテオミクスを用いた抗腫瘍自己抗体の検出と同定	2,000	1,100 0
	教授	本間 好	萌芽研究	16659305	精神神経疾患のゲノムエピジェネティクスに関する研究	1,700	0 0
	講師	本間美和子	基礎研究(C)一般	16570120	細胞周期進行におけるCK2機能の解析	1,300	0 0
	教授	和田 郁夫	特定領域研究	17028045	1分子計測による小胞体内動的構造の解析	3,100	3,100 0
	教授	和田 郁夫	基礎研究(B)一般	17370039	分泌カーゴ蛋白質の成熟化を制御する分子機構の解明	7,600	7,100 0
	講師	初沢 清隆	特定領域研究	16044237	Phagocytosis 初期におけるカーゴ選別と品質管理に関わるp24の役割の解明	3,100	0 0
	助手	橋本 仁志	若手研究(B)	17780255	小胞体におけるカーゴ選別と品質管理に関わるp24の役割の解明	1,600	1,800 0
教授	小林 和人	基礎研究(B)一般	16300102	線条体GABA性インターニューロンの行動生理学的役割に関する研究	2,900	2,900 0	
教授	小林 和人	特定領域研究	17021035	選択的な神経路標的法による大脳皮質-基底核ループ回路の機能に関する統合的研究	7,200	0 0	
教授	小林 和人	萌芽研究	16650070	イムノトキシン細胞標的法の霊長類脳機能研究への応用	1,300	0 0	
講師	八十島安伸	若手研究(B)	16700289	扁桃体ノルアドレナリン神経伝達による情動記憶再生の神経機構	1,000	0 0	
助手	小林 憲太	若手研究(B)	17700313	萎縮運動神経細胞の発生におけるRho/Rho-Kinase シグナル伝達系の役割	1,300	2,200 0	
講師	中川(未)恵子	萌芽研究	16650223	近世後期における在村医の地域ネットワークの研究-医療協力・症例研究会を中心に-	500	400 0	
助手	菅野 寿	基礎研究(C)一般	15592122	Adriamycin の三叉神経第3枝への注入に関する研究	500	0 0	
助手	鈴木 理	若手研究(B)	17790241	ヒト悪性リンパ腫におけるN型およびO型糖鎖とガレクチンの生物学的機能の解明	1,500	1,000 1,000	
講師	川島 理恵	萌芽研究	15659509	看護学基礎教育における「静脈内注射」の技術教育の実態に関する研究	800	0 0	
教授	荒川 唱子	基礎研究(C)一般	15592283	がん化学療法患者の精神神経免疫系に及ぼすリラクセーション技法の影響	800	0 0	
助教授	小平 廣子	萌芽研究	17659713	短入所サービスマス利用の痴呆高齢者の家族介護者に対する問題行動対応方法教育の効果	700	500 500	
講師	稲毛(増)映子	若手研究(B)	16791351	療養環境、特に振動が患者のQOLに与える影響の評価法の開発	900	600 0	
講師	安齋ひとみ	萌芽研究	17659712	積雪寒冷地における冬季訪問看護ニーズと課題-山村地区を中心に-	200	400 400	
助教授	大川 貴子	基礎研究(C)一般	16592115	患者のエンパワメントを促す日常生活援助方法のプロトコル作成と評価に関する研究	1,200	800 0	
教授	真壁 玲子	基礎研究(C)一般	14572287	乳がん体験者とその配偶者のソーシャル・サポートと精神的・身体的状況との関連	700	0 0	
看 護 学 部	講師	菅野 寿	基礎研究(C)一般	15592122	Adriamycin の三叉神経第3枝への注入に関する研究	500	0 0
	講師	鈴木 理	若手研究(B)	17790241	ヒト悪性リンパ腫におけるN型およびO型糖鎖とガレクチンの生物学的機能の解明	1,500	1,000 1,000
	講師	川島 理恵	萌芽研究	15659509	看護学基礎教育における「静脈内注射」の技術教育の実態に関する研究	800	0 0
	教授	荒川 唱子	基礎研究(C)一般	15592283	がん化学療法患者の精神神経免疫系に及ぼすリラクセーション技法の影響	800	0 0
	助教授	小平 廣子	萌芽研究	17659713	短入所サービスマス利用の痴呆高齢者の家族介護者に対する問題行動対応方法教育の効果	700	500 500
	講師	稲毛(増)映子	若手研究(B)	16791351	療養環境、特に振動が患者のQOLに与える影響の評価法の開発	900	600 0
	講師	安齋ひとみ	萌芽研究	17659712	積雪寒冷地における冬季訪問看護ニーズと課題-山村地区を中心に-	200	400 400
	助教授	大川 貴子	基礎研究(C)一般	16592115	患者のエンパワメントを促す日常生活援助方法のプロトコル作成と評価に関する研究	1,200	800 0
	教授	真壁 玲子	基礎研究(C)一般	14572287	乳がん体験者とその配偶者のソーシャル・サポートと精神的・身体的状況との関連	700	0 0

